



編集 SEF 事務局
 連絡先 03-3669-0499
 URL http://sef-jpn.org

巻頭のことば「春の訪れ」 **理事 長本啓仕**

人間社会は経済的には日銀のマイナス金利の効果がまだまだ先行きの見えない状況が続き、国際社会も IS 問題を含めて紛争の終焉が全く見えない情勢が続いていますが、自然界はそれらに関係なく季節の移り変わりを進めております。

春は身も心も弾ける季節なのですが浮かれてばかりではいけないことは申すまでもないことでしょう。春と云えば日本の歳時記に時候を表す言葉として、中国古代の天文学七十二候の一つ、乃ち二十四節季で云う雨水の初候として“瀬祭”と言う言葉があります。“瀬祭”と云う名称は今なかなか手に入りにくい山口県岩国市の酒造メーカーが発売している日本酒のブランドとして有名ですが、歳時記での意味はカワウソ(瀬)が魚を採ってもすぐに食べないで岸に並べるのでそれが祭の供えものをしているように見えることから付けられたことのようにです。カワウソが集うように人間も集うことが好きです。何かをする時に個々の力より集団の力が効果があることは自明の理です。SEF の活動も「産業界で活躍していた人々や現在活躍中の人々の中で自分の持つ専門知識や経験を社会に貢献したいと云う考えの人々を糾合する・・・」が目的となっております。単なる集いではあまり意味がありません。

SEF も 4 月から新年度 15 期が始まります。ますますの発展を祈念する次第です。

2 月度 (第 151 回) 理事会報告(2 月 24 日)

≪第 151 回理事会≫ 1. 平成 28 年度 SEF 運営基本方針の件→審議・承認 2. JJ 研今年度活動支援費見通しと追加予算申請の件 →審議・承認 3. 平成 28 年度事務局関連業務委託費について →審議・承認	4. 平成 28 年度事務所賃貸料の件 →審議・承認 5. 80 歳以上の会員の年会費免除の件 →審議・承認 6. HP 作成委員会組織の件 →審議・承認 7. H28 年度理事検討会議事録の件 →報告・了承 8. 平成 28 年 1 月会計報告 →報告・了承 9. 平成 27 年度決算見込報告 →報告・了承
--	--

事業報告 業務支援事業部会 1グループ **担当理事 眞鍋康雄**

今期も期末を迎え、来期の事を考える時期になりました。今期の当事業部の活動状況は、好調だった昨年度に比べると低調な結果となりました。特に1グループの主要事業である機器検査事業が昨年度実績の略50%と低迷が見込まれています。とは申せ、ここ5年間位の期間で評価しますと、昨年に次ぐ収入状況ですので、不本意ですがまずまずと言えるのかも知れません。但しここ数年の当事業内容をみてみますと、今まで諸先輩が開拓して現在継続中の事業メニューが主体で、過去のレガシーに支えられているのが現状です。今後新規の事業メニューを早急に構築する時期に来ていると言えます。当事業部も担当理事や部会メンバーの世代交代が進んでいますが、今後、新たな事業メニューを企画、立案するべく部員の皆さんで新しい発想を持ち寄り、練り上げて行く必要があると考えています。部員各位のご協力をお願いします。

SEF サロン 第 92 回案内 **担当理事 白崎善宏**

1 月の SEF サロンは講師のご体調が悪く中止となりました。次回は下記の通り改めて第 92 回を開催します。

日時：2016 年 3 月 23 日(水) 18 時 **場所：青学会館内アイビーホール 1F 「フェリア」**
演題：「イスラーム国は誰が作ったのか」
講師：塩尻和子氏 東京国際大学特命教授 国際交流研究所長 筑波大学名誉教授

日本で有数のイスラーム研究者の塩尻氏に、今、最も注目されている「イスラーム国」についてご講演をお願いしました。概要は前半が①宗教と政治を分けて考えること②IS はどうしてあそこまで残酷なのか③IS とアル・カーイダの残酷さの違いは何か?④なぜ IS は文化遺産を破壊するのか⑤「イスラーム=女性蔑視か?」です。後半では「戦闘的過激派の論理」について①テロリストの論理 ②ビン・ラーディンとアル・カーイダ ③「イスラーム国」です。

最新の興味深いお話を拝聴できるこの機会に、皆様には是非参加されますよう、お誘い申し上げます。

2 月度会員動向

会員入退会 入退会なし	3 月 1 日 会員数 正会員-31 名、準会員-28 名、賛助会員-3 社
----------------	---